



はばたき

2026.02
第38号

特集

ジェンダー平等社会を目指して ～今日からできる、暮らしの中の小さな一歩～

男女共同参画推進事業報告
(令和7年1月～令和7年12月)

「輝く自分になるためのスキルアップ講座」

「婚活応援イベント」

100人あつまれ～！がまごおり七夕婚活イベント」

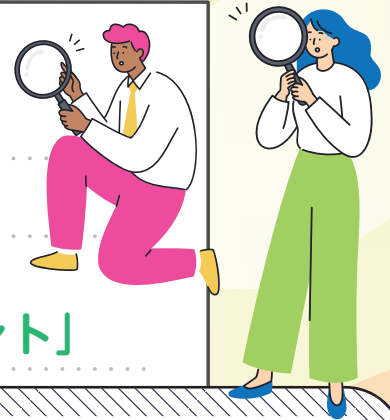
「高校生向け人権擁護講座」

「パープル・ライトアップ」

「男女共同参画講演会」

令和7年度男女共同参画啓発事業

キャッチフレーズ・習字の入賞作品決定!



第3次蒲郡市男女共同参画プラン基本理念
多様な個性を
生かした魅力のあるまち



バックナンバーをホームページ上で
見ることができます。
QRコードを読み込んでください。



ジェンダー平等社会を目指して ～今日からできる、暮らしの中の小さな一歩～

(出典元・参考：内閣府男女共同参画局ホームページ)

- ジェンダー平等は、私たちの暮らしと深く関わっています -

内閣府男女共同参画局では、男女共同参画社会を「男女が社会の平等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野に参画する機会が確保され、その利益を享受し、ともに責任を担う社会」と定義しています。

ジェンダー イコール ソサエティ

男女共同参画社会は、英語では gender equal society と表現され、近年は「ジェンダー平等社会」とも呼ばれています。

ジェンダー平等社会を目指すとは、性別によって役割や生き方が決めつけられることなく、誰もが自分らしい選択ができる社会を作っていくことです。



～ ジェンダーとは ～

- ジェンダーとは、体の違いではなく、社会や文化の中でつくられてきた性別による役割や期待、思い込みのことです。時代や文化で変わり「後天的」に形成されるという特徴があります。
- 一方で、生まれつきの性とは、生物学的な性別のことで、変わらないという特徴を持ちます。

※出典元：内閣府国際平和協力本部事務局 PKO

暮らしの中にあるジェンダーによる偏り

私たちの日常には、気付かないうちにジェンダーによる偏りが存在することがあります。それぞれの場面で自身のことを振り返ってみましょう。

▶ 家庭の中では・・・

- 家事や育児、介護の役割を、「女性」と決めつけていませんか？
- 「男性は仕事をして家計を支えるべき」と考えていませんか？

▶ 仕事や地域活動では・・・

- 育児を女性に任せていませんか？
- 地域の代表など責任のある役割は、男性がやるべきだと考えていませんか？

▶ 何気ない会話の中では・・・

- 「男なんだから」「女らしく」といった言葉を、無意識に使っていませんか？





暮らしの中からジェンダー平等にしていこう

日常の中でジェンダーを意識することで、暮らしにはさまざまな前向きな変化が生まれます。

- 家庭の中で、家事や育児、介護の負担を分かち合える
- 働き方や生き方の選択肢が広がる
- 互いの考えや事情を尊重し、話し合いやすくなる
- 子どもたちが、性別にとらわれず将来を描ける



「こうあるべき」という考えから離れ、一人ひとりに合った暮らし方を選択できることが大切です。

私たちにできること

ジェンダー平等とは、特別な取り組みを求めるものではありません。

- 「男性だから、女性なのに」と決めつけていないか振り返る
- 家事や育児、介護について、話し合う時間を持つ
- 相手の考えや選択を尊重する
- 困ったときに相談できる制度や窓口を知っておく



一人ひとりの小さな気づきや行動が、より良い暮らしにつながっていきます。気づくことで、誰にでも今日から始めることができます。

ジェンダー平等社会が実現すると、仕事や家庭、学校、地域生活など様々な場面において自らの希望に沿って選ぶことができ、誰もが豊かな人生を送ることが出来ます。

蒲郡市の男女共同参画プランでは、基本理念を「多様な個性を生かした魅力のあるまち」と定めています。お互いの違いを認め合い、支え合いながら暮らせる社会を目指して、私たち一人ひとりができることから取り組んでいきましょう。



男女共同参画推進事業報告

蒲郡市男女共同参画行政課題型協働委託事業

男女共同参画社会の実現に向けて、市民活動団体と市が協働で行う協働委託事業として、蒲郡にじの会（代表 浅井なお枝氏）と共にスキルアップ講座を開催しました。

☑️〈スキルアップ講座〉～こころと体のセルフケア～

第1回「今から始める健康太極拳」 講師：本多公子氏

と き：令和7年11月1日（土） 参加者：30名

太極拳の基礎的な考え方、効能などの講義を受けました。太極拳の実践は、わかりやすい指導で初心者にも、経験者にも楽しく学べる内容でした。ゆっくりとした動作が中心なため、幅広い年齢層の方が無理なく、楽しく体験できました。



第2回「家庭でできる中医薬膳のすすめ」 講師：金子かずえ氏

と き：令和7年11月8日（土） 参加者：32名

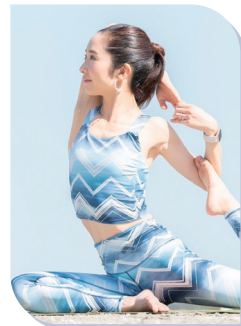
薬膳の歴史や効能について、詳しく講義いただきました。舌の色や形から自身の体調を診断する「舌診」をセルフチェックし、受講者の方々は自分の好不調を知るきっかけになりました。講座の後では、体にやさしい薬膳おやつ、飲み物をいただきながら質疑応答をし、参加者からはたくさんの質問が出て、関心の高さを感じることができました。



第3回「子育て世代向け リフレッシュヨガ」 講師：大場麻理氏

と き：令和7年11月22日（土） 参加者：8名

産後の母体に与える影響や骨盤の仕組みなど説明していただきました。受講者の方々は、ゆったりした音楽の中で、子どもは託児に預けながら、ヨガをすることができました。忙しい合間にも手軽にできるようなものもあり、これから実践してみたいというお声も多く聞かれました。



☑️婚活応援イベント【100人あつまれ～！がまごおり七夕婚活イベント】

令和7年7月6日（日） 男女各50名

男性女性それぞれ50名、総勢100名での大規模婚活イベントを実施しました。今回も募集人数を大きく上回る応募をいただき、20代、30代の男女100名の方が参加されました。

イベントに先立ち、参加者向けに相手に好印象を与える会話のコツや服装のポイントをお伝えするセミナーを開催し、初心者でも安心して参加できるようにしました。イベント当日は、スマートフォンを使い、相手のプロフィールをチェックしながら全員と会話する時間を設けました。その後はフリータイムで、話したい人を指名する「お呼び出しカード」を使うなどして、大人数ながらも気になる方とのお話できる時間を設けて行いました。初めての100人を超える規模でのイベントでしたが、会場は大変盛り上がり、多くの方がお互いの連絡先を交換し合っていました。



高校生向け人権擁護講座

☑「デートDV」講座

とき・ところ：令和7年11月17日（月） 三谷水産高等学校 450名
講師：増井さとみ氏 ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA

デートDVとは、「親密な」関係の中で、どちらか一方が様々な方法で支配（コントロール）し、自分の思い通りにしようとする行為で、高校生くらいの年代からそのようなことが起こりうるということを説明され、生徒たちは身近な問題であることから、真剣に耳を傾けていました。

交際相手と素敵な関係を作るために、お互いを大切にする必要があるということを改めて認識できる機会になりました。



☑「アサーティブコミュニケーション」講座

とき・ところ：令和7年12月4日（木） 蒲郡高等学校（定時制課程） 70名
講師：瀧崎優佳氏 豊橋創造大学短期大学部 キャリアプランニング科准教授

アサーティブコミュニケーションとは、「自分の気持ちを考え、正直に丁寧に伝えながら相手の気持ちも大切に話す話し方」のことであると話しをされました。

セルフチェックにより自分のアサーティブ度を判定し、自分の思考の性質を知ったうえでケースワークをするなど、実践的な講座となりました。



パープル・ライトアップ

☑ 蒲郡駅前広場「ニッポンチャレンジ号」にてパープル・ライトアップ実施

11月12日～25日は女性に対する暴力をなくす運動期間として定められ、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、ランドマーク等を紫色にライトアップする「パープル・ライトアップ」の実施を国が呼び掛けています。

蒲郡市においても、女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、蒲郡駅前広場ニッポンチャレンジ号のパープル・ライトアップを実施しました。

パープル・ライトアップには、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。



男女共同参画講演会

講演会：「輝ける日本へ！これからの地域と女性の力」

とき・ところ：令和7年8月31日（日） 蒲郡市民会館 中ホール 参加者150名
講師：伊藤聡子氏（フリーキャスター、事業創造大学院大学客員教授）

「日本の未来を拓く鍵はジェンダー平等にあり」を題材とし、分かりやすく軽快な語り口で現代の日本社会が抱える多くの課題についてお話しいただきました。

少子高齢化、経済の停滞、国際競争力の低迷など様々な問題の他、SDGsの目標の中でも特に、ジェンダー平等と環境問題について言及されました。

日本のジェンダーギャップ指数は、G7の中で最下位です。賃金格差や仕事と家庭の両立の難しさから、女性が持つ能力を十分に発揮できていません。その結果、女性のキャリア形成や少子化、地方からの女性流出へつながり、日本の経済成長にも影響を与えていると問題提起されました。

また、女性の視点を生かしたビジネスモデルが多数紹介され、従来の枠にとらわれない発想が、新たな価値を生み出す希望の光となり得ると語られました。

日本の未来を切り拓くためには、男性の積極的な育児・介護への参加、そして誰もが能力を最大限に発揮できる柔軟な社会の実現が不可欠です。ジェンダー平等は、経済、技術、環境、貧困といったあらゆる課題を解決するための持続可能な社会のエンジンです。

「私たち一人一人がこの認識を共有し、行動に移すことが日本の豊かな未来を創造する原動力になるはずですよ」と力強く語っていただきました。



令和7年度男女共同参画啓発

キャッチフレーズ・習字入賞作品

蒲郡市では男女共同参画への意識向上と理解促進のために、キャッチフレーズ及び習字を市内小中学生から募集したところ、多くのご応募をいただきました。選考の結果、各部門の入賞作品が決定し、それぞれ賞状と記念品を授与しました。

キャッチフレーズ



変えよう 性別で決める

当たり前

形原中学校 鳥居なつみさん



すべての人の「個性」を大切に
男女差別をなくしていきこう

西浦中学校 渡辺竜也さん



男でもなく、女でもなく、
あなたはあなたでしかない

中部中学校 藤井董子さん

習字

中学生の部



最優秀賞
足立奈々恵さん

多文化
共生

中部中一年 足立奈々恵



優秀賞
市川緋里さん

個性
性

蒲郡中一年 市川緋里



優秀賞
大沢直輝さん

個性
性

蒲郡中一年 大沢直輝

小学生の部



最優秀賞
篠原耕壽さん

多様
性

蒲南小六年 篠原耕壽



優秀賞
白井里依さん

認め
合

竹島小五年 白井里依



優秀賞
小田咲瑠さん

多様
性

西浦小五年 小田咲瑠

